

第173回 定期演奏会

Daphnis et Chloé

歌劇「サムソンとデリラ」より「バッカナル」

／C.サン＝サーンス／大橋晃一 編

Bacchanale from Opera "Samson et Dalila" / Camille Saint-Saëns

サクソフォン四重奏曲のためのコンチェルト・グロッソ*

／J.アンドリーセン **TKWO委嘱新作・世界初演**

Concerto Grosso for Saxophone Quartet and Wind Orchestra* / Jurriaan Andriessen

バレエ音楽《ダフニスとクロエ》(全曲版)

／M.ラヴェル／大橋晃一 編

Daphonis et Chloe / Maurice Ravel



指揮

ユベール・スダーン

「サクソクス四重奏」

林田祐和、五十嵐健太、

松井宏幸、栃尾克樹



4.29 (水・祝) 2026
開演: 14:00 (開場: 13:00)

東京芸術劇場コンサートホール

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 TEL:03-5391-2111

TICKET (全席指定・税込)

S席: ¥7,500 A席: ¥6,000 B席: ¥4,500 C席: ¥3,500

各種割引 (TKWOチケットサービスのみでの取り扱い)

U25割引 ¥2,500*

*25歳以下の方のための割引サービスです。
【A席orB席】公演当日は年齢を証明できるものをご持参ください。

東京佼成ウインドオーケストラ チケットサービス

WEBチケットサービス

いつでも予約可能!

※定期メンテナンス
毎日3:00-4:00

座席指定

クレジット決済

電子チケット

コンビニでの支払・発券



TEL

03-5341-1164

9:30-16:30
土・日・祝を除く

○団体・車いす・身体障害者手帳をお持ちの方には割引がございます。
※割引の併用はできません。

会員先行: 2025/7/30(水)

一般発売: 2025/8/6(水)

プレイガイド

◎チケットぴあ ◎ローソンチケット
◎e+ (イープラス)

※当日券は500円増しとなります。(U25除く) ※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※出演者・曲目・時間等は変更になる場合がございます。 ※お申し込み後の変更・キャンセルはお受けできません。 ※公演中止の場合を除き、払い戻しはいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

東京佼成ウインドオーケストラ事務局 TEL 03-5341-1155

<https://www.tkwo.jp/> X f i o t v

スダーンが贈る、越境の踊り

中橋愛生 (TKWO楽芸員)

名匠スダーン再臨!1946年にオランダで生まれたスダーンは、ブザンソン国際指揮者コンクール最高位受賞などを経て、世界中の名門オーケストラと共演を重ねてきた名指揮者だ。東京交響楽団の音楽監督を務めたほか、数々の国内オーケストラにも客演しており、日本との縁も深い。そんなスダーンとTKWOとの共演は今回で4回目。第137回定期(2018年)での初共演以降、第146回定期(2019年)、コロナ禍を挟んでの第160回定期(2023年)と歩みを重ね、いずれの回でも「クラシック(管弦楽)の名曲と吹奏楽オリジナル作品」を組み合わせ、吹奏楽の世界に新しい風を送り込んできた。管弦楽と吹奏楽の垣根を越え、一つのコンサートのなかで織り交ぜた表現を聴かせてくれる海外の指揮者は、それほど多くはない。今回もどんな新風を巻き起こすのか、楽しみだ。

これまでのスダーンとTKWOとの共演に欠かすことができない存在が、大橋晃一だ。ホルン奏者にして編曲家としても活躍している大橋は、これまでに数々の編曲作品をTKWOに提供してきたエキスパート。TKWOの音楽力を最大限に引き出せる名編曲家だ。今までのスダーン登壇回の全てで大橋の編曲作品は演奏されており、スダーンからの信頼も厚い。今回もフランスの大作作曲家2人

による「踊り」にちなんだ管弦楽作品が、大橋の筆でスダーンに託される。特に、ラヴェル《ダフニスとクロエ》は、よく演奏される〈第2組曲〉ではなく、全曲版であるというから驚きだ。《ダフニスとクロエ》マニアを自認する大橋が今回のために書き下ろす新編曲に期待が高まる。オープニングを飾るサン=サーンス《バックナール》の熱狂とともに、新旧それぞれの編曲の妙にも注目したい。

その間に置かれるオリジナル作品、オランダの作曲家アンドリーセンによる《サクソフォン四重奏と吹奏楽のためのコンチェルト・グロッツ》は、TKWO1992年の委嘱作。TKWOが1989年に欧州演奏旅行をしたことが縁で生まれた作品だ。バロックと現代が交錯し、クラシックのなかにジャズ的な響きも垣間見えるこの曲を、作曲家と同郷のスダーンがTKWOの誇るサクソフォン・セクションとともに再演する。

旧約聖書を題材としたサン=サーンス、古代ギリシアの小説を基にしたラヴェル、バロック音楽の様式に倣ったアンドリーセン、これら三者三様の「越境」が楽しめる今回のプログラム。管弦楽と吹奏楽を「越境」する名匠スダーンが、私たちをどのような世界へ連れて行ってくれるのか、興味は尽きない。

Profile

ユベール・スダーン (指揮)

Hubert Soudant,
Conductor



©F. Fujimoto

1946年、オランダ・マーストリヒト生まれ。ブザンソン国際指揮者コンクール最高位、カラヤン国際指揮者コンクール第2位、グールド・カンテルリ国際コンクール優勝に輝いている。これまでに、ベルリン・フィル、ロンドン響、ミュンヘン・フィル、ハンブルク放送響、フランクフルト放送響、ドレスデン・シュターツカペレ、ミラノ・スカラ座歌劇場管弦楽団、ローマ・サンタ・チェチーリア管など主要なオーケストラと共演し、オペラ分野でもバステュー・オペラや、パルマ、パレルモ、ポローニャなどのオペラハウスで精力的

に活動している。2004年7月、ザルツブルク市名誉市民およびオーストリア・ザルツブルク州ゴールデン勲章を授与された。

メルボルン交響楽団首席客演指揮者、フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団、ザルツブルク・モーツァルトウム管弦楽団の首席指揮者、東京交響楽団音楽監督などを歴任。現在、東京交響楽団桂冠指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢の名誉アーティスト・アドヴァイザーを務めている。

東京交響楽団音楽監督在任中には数々の業績を残したが、シュベルト・チクルスでは「2008年もっとも充実した果実」「信じられないほど絶妙なバランスがとれた演奏」と絶賛され、2006年5、6月新国立劇場で指揮したモーツァルトの歌劇「皇帝テイトの慈悲」では年間ベスト・オペラ公演に選ばれた。また近年では、大阪フィルハーモニー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、札幌交響楽団、広島交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団なども友好的な関係を築いている。国際的な音楽祭としては、ブラハの春、リンツ・ブルックナー、ザルツブルク・モーツァルト週間、ウィーン芸術週間、ニューヨークのモーストリー・モーツァルトなどに多数招かれている。レコーディングにおいても、東京交響楽団とのCDのほか多数をリリースした。

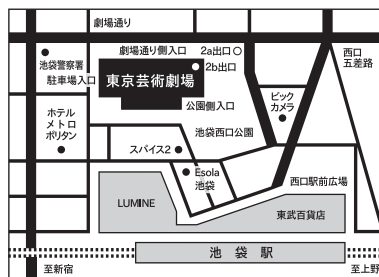
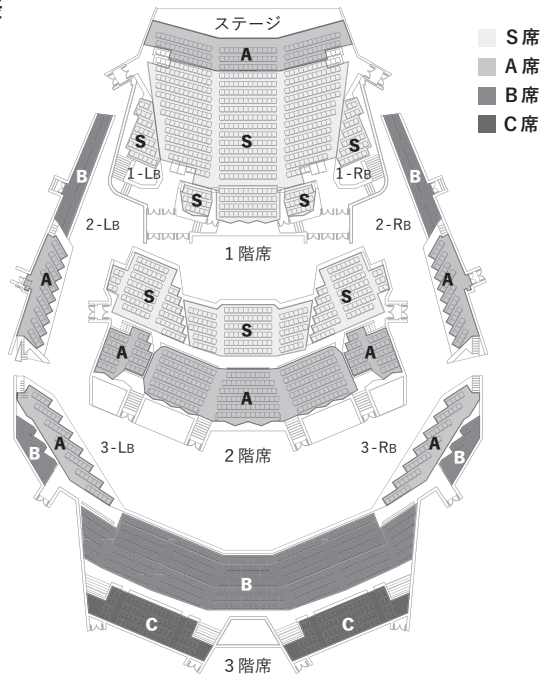
東京佼成ウインドオーケストラ Tokyo Kosei Wind Orchestra



©Atsushi Yokota

1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。2024年4月から大井剛史が第6代常任指揮者、中橋愛生が楽芸員に就任。桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、特別客演指揮者にトーマス・ザンデルリンク、首席客演指揮者に飯森範親を擁している。吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し高い音楽芸術性を創出し、多くの人が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。また多くのレコーディング、メディアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

■ 座席表



東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線

池袋駅西口より徒歩2分。

駅地下通路2b出口と直結しています。

※劇場には、託児サービスがございます。

詳細はTEL 0120-165-115(9:00-17:00/土・日・祝を除く)へ

お問い合わせください。

TKWO 吹奏楽カフェ

第10回

2026年 3月24日 [火] 19:15 開店

管楽器専門店ダク「スペースD0」(最寄駅「新大久保」駅)

料金 2,500円(税込)

■ 共催: 管楽器専門店ダク

詳細はこちら

